

十一、十一、なみ

第117号

〔ミッジョン〕 私たちは、自閉症を中心とした知的障がい者の明るい未来を開くため、総力を上げて支援を行います。  
〔ビジョン〕 豊かな自然の中で、社会に生きる障がい者の良きパートナー（隣人）として、利用者とともに歩み続けます。

社会福祉法人 横の里 いすみ学園

利用者の抱負

今年も健康でおいしいものを食べたい。

(崇嘉)

今年は、沢山、外食や外出を楽しみたい。

(正巳)

今年自分でも買い物がしたい。

(俊朗)

今年は、外食で美味しい物をお腹いっぱい食べたい。

(俊哉)

健康に気を付けて、特に風邪をひかないように元気に過ごす。

(隆明)

毎日ポジティブに！笑顔いっぱい過ごします。

(陽一郎)

お母さん・お姉さんと楽しい時間を過ごしたいです。

(清)

おいしい物を沢山食べてお仕事頑張りたい。

(賢治)

コロナに負けず、早く外食を楽しみたい！

(拓也)

悠々自適

(功博)

今年も、怪我無く健康で過ごしたいです。

(直人)

油断大敵

(勇)



いざ、家族と一緒に日帰り旅行!!  
元気な一年で頑張る。  
(伸和)  
(知之)

健康で、怪我無く、楽しく過ごします。  
コロナが落ち着いたらエビフライを食べに行きたい!  
怪我をしないよう気を付けて元気に過ごす。  
今年こそいっぱい出かけて、電車にものれますように!  
早くコロナが落ち着き、家族で外食を楽しめるように!  
早く家に帰ってお父さん、お母さんを安心させたい。  
今年も健康で外出、外食を楽しみたい  
(肇)  
(龍司)  
(隆行)  
(次郎)  
(和彦)  
(忠弘)  
(洋)

外食いっぱいするぞ!  
おいしい物をいっぱい食べて、元気に過ごしたい!  
健康第一に、毎日楽しく過ごしたい。  
マザー牧場に行ける日を楽しみに、それまで元気に過ごす。  
俺たちレッドとグリーンで2人で仕事だ!  
お父さん、お母さんと沢山過ごせる時間が早く来ますように。  
作業、運動頑張ります!おいしいものを食べに行きたい!  
今年、外食を楽しみたい。  
(直樹)  
(勝己)  
(伸泰)  
(哲)  
(順二)  
(諒)  
(直行)  
(近司)

今年も笑顔いっぱい!健康にすごせませように!!  
心機一転  
沢山の所に出かけられるようにお仕事頑張ります。  
今年、外食や喫茶を楽しみたい。  
外食を楽しんで、笑って毎日過ごします!  
今年も毎日笑顔で過ごしたいです。  
家族といろんなところに旅行したい。  
毎日笑顔で過ごしたいです。  
(裕輔)  
(功)  
(陽)  
(陽介)  
(譲二)  
(大作)  
(美由紀)  
(潤子)

元気に過ごし、外食に出かけられるようになりたい。  
健康で過ごし、好きな物をたくさん食べたいです。  
加工班のお仕事を頑張ります。  
健康第一で、元気に過ごしたいです。  
おいしいものを食べに行きたいです。  
お出かけしておいしいものを食べたいです。  
ケーキクッキーの工場に行けるように早く卒業して頑張ります。  
美味しい物をたくさん食べられるように元気に過ごしたいです。  
ハンバーグ食べたいな。  
お友達と仲良く過ごしたいです。  
温泉に行きたいです。  
お家に帰って家族みんなと過ごしたいです。  
健康第一で、元気に過ごしたいです。  
仕事も休日も同じように皆と仲良くしていきたいです。  
好きな食事が食べたいです。  
嬉しい事いっぱい毎日過ごして、七転八起出来る人になりたい。  
自分の出来ることを増やし、皆と仲良く一日一日を楽しみます。  
今年も毎日笑顔で過ごしたいです。  
おともだちと、仲よく、楽しく、お仕事がんばりたいです。  
元気よく学園に来ます。  
(康恵)  
(麗子)  
(美千代)  
(祐子)  
(理恵)  
(香織)  
(泉)  
(順子)  
(純子)  
(雅子)  
(真砂子)  
(明子)  
(文子)  
(あけみ)  
(昌子)  
(由紀)  
(清伸)  
(健夫)  
(文宏)  
(理絵)

寮のみんなと仲良く過ごし、仕事を一生懸命頑張ります。(透) 遊びも、仕事も「全集中」で過ごします。(一夫) 健康に気を付け、お仕事を頑張りたい。(智司)

コロナが終わり、外で大好きなパンを沢山味わえるようになりたい。(間子) みんなと仲良く、美味しい物を食べ、楽しく過ごしたいです。(恵里子) 毎日、元気に笑顔で過ごしたいです。(岩雄)

コロナが終息したら、外食に出かけたいです。仕事も頑張るぞ！(和好) 一班のお仕事を頑張りたいです。(富美) 自分で作った手芸品で、お部屋を飾って楽しみたいです。(恵里) ケガをしないで、お仕事頑張ります。(江美)

### 職員の抱負

楽しみを大事に、皆で良い仕事しましょう。(施設長 堂下 勉) 遂に仕事を締めくくる歳を迎え、日々大切に仕事に向き合おう。

(事務長 小林 悟) 何が起ころうと、いつだって「好日」。そう考えて一年がんばろう。(鶴岡田 鶴子)

人との繋がりを大切に、記憶に残る一年にします。(土屋 早苗) 目標に向かって動く！！(大屋 真理子)

「優しさ」と「思いやり」を追求する。(井上 秀一) 当たり前の、普通の日常に感謝。HAPPY NEW YEAR!! (加茂 正和) 体調に注意して、一年頑張る。(三上 慎一郎)

大切な事をしっかりと見据え、地にしっかりと足を付け日々善心(田辺 清万) 一日を大切に。やり残しのないように。(軽込 進一) 今年も健康第一に過ごしたい。(長沼 毅)

ピンチはチャンス！危機から得られた経験を活かす一年にします。(片岡 彰則) 週に二回は運動をする。(屋代 精一) 家族が健康な一年を送れるように。(篠崎 俊克) 今年こそは、体重減量！健康に過ごします。(金城 正直)

## 本年もよろしく お願いいたします



今年こそ、テニスの大会で、予選突破したい！「人に優しく」・「毎日走る」を目標に！自己管理をしっかりと行い、日々の支援に努める。(泰居 容一)

痩せる！今年も毎日健康で、楽しく過ごしたいです。(長田 圭司) 五キロ体重を減らし、健康に過ごしたい。(末吉 武司) 冗談みたいな楽しい毎日を過ごしたい。(大木 崇司)

今年こそ、平安な一年を過ごしたい。(山下 大貴) 笑顔で楽しい支援が出来ますように。(竹内 詠子) 利用者の皆さんに寄り添いながら、できることを行っていきます。(鈴木 典子)

健康第一、日々の生活を大切に過ごせる一年にしたいです。(岩瀬佳代子) 初心を忘れずに。一日一日を大切に過ごします。(岩瀬祐三子) いつも笑顔で、私らしくいられる一年に!!(松本みゆき)

感謝♡ス直♡心の下座♡(會津みどり) 毎日元気で利用者さんの健康管理に努められように・頑張ります。(鈴木ゆかり) 何気ない毎日を大切に、明るく元気な一年に(鶴沢 美帆) 静かに熱く。(是枝志津子)

健康に気をつけて仕事も人生も楽しみたいです。(小高由希子) 健康に注意し一年が元気に過ごせますように！(市東やす子) まあまあな毎日、明るく過ごさず。(吉野 晴美)

健康で過ごせますように。(川名 純子) 健康に過ごせる様に気を付けます。(池田恵里子) 皆さんが健康に過ごせますように。(君塚 弘江)

健康第一！！(鈴木 晃) 怪我をしないで、健康な一年を過ごしたいです。(藤平 浩美) 健康で穏やかな毎日でありますように。(八木 三枝)

みんな元気でいられますように。(手塚 伸子) 毎日、笑顔を忘れない一年にしたいです。(佐藤 幸子) 自分の時間を大切に。自分のご褒美を沢山あげる。(小島 七生)

利用者様と仲良く、また健康に気を付けて頑張ります。(宮澤三枝子) 一日一時間のウォーキングをする。一日を大切に過ごさず。(最首 京子) 今年が丑年。のんびりとゆとりのある一年を過ごしたい。(小柴さい子)

今年も一年間元気で、皆さんと仲良く頑張りたいです。(浅野トシ子) 利用者さんと共に健康で笑顔で毎日過ごさせますように。(下山田礼子) 皆に会えて楽しかったです。頑張ります！(高師 啓子)

# 『年頭のご挨拶』

社会福祉法人 榎の里 理事長 岡部 一 邦

明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、世界中の若人が東京に集い、交歓を繰り広げる「オリンピック・イヤール」となる筈でございましたが「新型コロナウイルス」の急襲を受け、世界はパニック状態の中で、疫病との戦いに苦闘する一年となつてしまいました。学園の日々の生活もすっかり様変わりしてしまいました。昨年二月に開催した「歌の祭典」以降、面会自粛をお願いしてあり、「一時帰宅」もすべて中止とさせていただきますましたので、利用者の皆さんは、一年近くもご両親とお会いできずに、学園で新年を迎えることとなりました。様々なストレスを抱えながら懸命に頑張っている利用者の皆さんを激励するために、昨年の「夏祭り」「榎の里祭」や「クリスマス・忘年会」は園内の地域交流ホームを会場に、特別企画で開催しましたが、これからも、利用者に寄り添い、緊張感を持ってコロナ禍収束の日を待ちたいと思っております。

れぞれが、新たな目標に向かって意欲を持って施設運営に当たってくれております。

一昨年の台風襲来により、千葉県では長期の停電や断水など甚大な被害を被り、防災設備の必要性を痛感させられました。また、東京都の支援をいただき、「自家発電設備の整備」と「受水槽の増設」を実施することが出来ました。工事は年度内に完了となりますので、防災対策を強化することが出来ます。

また情報システムの拡充を図るため、新たなICTの構築を進めて参りました。利用者の皆さんの日々の生活記録をはじめ、各種の情報を共有化し、支援に活用していくための新システムを年度内に本稼働いたします。

コロナ禍との戦いは、しばらく続くことを覚悟しなければならぬようですが、新しいこの一年も職員一丸となつて「優しさと思いやり」をもって、利用者支援に努めて参ります。また、状況が許せば、懸案の「新棟建設プロジェクト」を二歩でも二歩でも前進させていきたいと念願しております。

引き続きご指導ご支援を宜しくお願いいたします。新年が皆様にとりまして、穏かで幸多き年となりますよう心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 『新年の挨拶』

社会福祉法人 榎の里 いすみ学園 施設長 堂 下 勉

新年明けましておめでとうございます。

「さざなみ」が皆様に届く頃には、コロナ感染拡大の動向が少しでも改善の兆しであることを切に願うばかりです。

ベストセラー作家の五木寛之氏の「大河の一滴」がこのコロナ渦中で再び脚光を集めています。ご家族の皆様、利用者や私たち職員が感じている「無力感」、「悲しみ」は共感し合うことで乗り越えていきたい想いです。コロナによる社会全体が受けたショックは計り知れません。本来新年の挨拶は、希望に満ちた心意気を示すものであります。コロナにより新たな時代を感ぜず、コロナにより新たな時代の幕開けの中で、度重なる一時帰省の中止や、各種行事内容の変更、休日外出時の飲食のあり様の変化を、戸惑いつつ経験する中で、私に「普段と違うんだ」と伝えに来た利用者がいました。長年のつき合いにより養われた成果と受け止めた瞬間でした。状況や環境の変化に追いつくことが困難な利用者ですが、全体の方向性を示せば、きちんと応じることが出来るのです。利用者の寂しさや切ない思いに寄り添い支えていく大切さを改めて習熟する機会ともなり、

コロナの困難な中で明るい発見です。コロナ感染拡大の第三波は留まることを知らず、学園としてもクラスター防止策の再徹底を図ったところです。

本人及び家族に体調不良を感じた時点で学園に連絡し、指示を仰ぐことを再徹底することで職員の注意喚起としました。自覚症状のないまま感染させてしまうケースも想定して、最悪の事態を前提とした対策も十一月の職員会議で全体に周知し了解を得たところです。限りを尽くし、万全を期して参ります。利用者が安心して暮らしていくために、災害時の復旧設備は不可欠であり、自家発電設備と受水槽拡張工事がこの三月に終了する予定です。また、地域医療による医療体制の充実は盤石でなくてはなりません。歯科治療においても、東京より治療の移行を始めており、いすみの地で、信頼できる歯科治療が可能になったことは実に心強いです。新年を迎えるにあたり、職員の英知を結集して、心温まる支援を心がけていきます。



# 『新年に想う』 コロナ禍を乗り越えて

保護者会長 谷島 慶彦

あけましておめでとうございます。昨年とは未曾有のコロナ禍により、社会が混乱し、未だ終息する気配の見えない状況が続いています。

千葉県下の障害者入所施設で新型コロナウイルスの集団感染が発生し驚きでしたが、いすみ学園では「コロナウイルス感染防止対策委員会」を立ち上げ、厳重な感染防止対策が取られ、大変心強く思っております。職員皆さんも感染を持ち込まない様、緊張感を持った支援が続きますが大変ですが、利用者がコロナ感染から守られている事に感謝申し上げます。

一方、いすみ学園利用者は自閉症傾向の有る人が多く、生活の変化の受け入れは大変だと思われ、一時帰宅や外出・旅行の中止、又、保護者の面会中止が続ぎ、寂しい思いとストレスを抱えているのではないかと思います。

この様な利用者の心情を少しでも支え様と、学園では例年になく余暇活動を企画し実施頂いており、長期面会の出来ない保護者にとっては、心休まる思いが致します。

学園からの報告を振り返ってみますと、利用者が一時帰宅出来ない五月と八月には「学園のお楽しみ会」を実施し、①カラオケと和太鼓グループ②D

VD鑑賞グループ③ゲームグループの三コースに分かれて、職員皆さんと一緒に盛り上がりつつ楽しみ、又、学園内だけで行った夏祭り・花火大会・学園祭は、職員さんの創意工夫と演出により例年とは一味違った企画で行われ、利用者にとっては、楽しい思い出となった事と思います。職員皆さんの優しさと思いやりのある支援に頭の下がる思いが致します。

昨年の保護者会はコロナ禍による面会中止により、保護者の学園での活動は出来ませんでした。学園との情報交換を行いながら、出来るだけ要望に添えて学園の応援に努めてきました。前述の余暇活動の為に和太鼓及びDVD映写プロジェクトや体育館での運動の階段付平行棒等の寄贈を行い、又、余暇活動の時の飲食物や花火大会の花火の提供を行いました。

昨年はコロナ禍の逆境の中、理事長の提唱された職場内の活性化による新しい環境作りに職員皆さんが応えて新しい姿が見られ、利用者の明るい未来に繋がるものと喜ばしく思います。

保護者会は新しいこの一年も学園に協力して、コロナ禍を乗り越えて、利用者の豊かな生活に向けて努めて参りますので、宜しくお願致します。

## 第三者評価利用者調査

いすみ学園では「東京都福祉サービス第三者評価」を毎年受審しています。これは、第三者の目から見た評価結果を幅広く利用者や事業者に公表することにより、利用者に対する情報提供を行うとともに、サービスの質の向上に向けた事業者の取り組みを促す事で、利用者本位の福祉の実現を目指すものです。

今年度は、昨年同様、一般財団法人「日本品質保証機構」に依頼し十一月二日に利用者調査が実施されました。コロナ禍での対面調査ということで感染症対策には細心の注意を払い、調査員の検温やマスク着用は勿論、手指消毒のためのアルコール自動消毒器の設

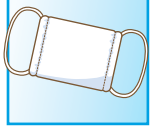
置、聞き取りの際の透明パーテーションの設置を行いました。マスク着用での聞き取りは意図が利用者者に伝わりにくいのではと懸念されましたが、一人一人にじっくりと丁寧に聞き取りをしていただき、一日かけて生活介護を利用している全ての利用者六十名の調査を無事に終えることが出来ました。

十二月に実施された経営層・管理職への聞き取り調査と併せて、第三者評価による結果は「とうきょう福祉ナビゲーション」にて後日公表されます。福祉サービスの質の向上、利用者主体の支援のために今後も毎年実施していきます。(支援主任 岩瀬祐三子)





## 感染症対策委員会の取り組み

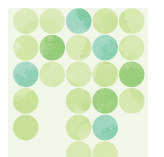
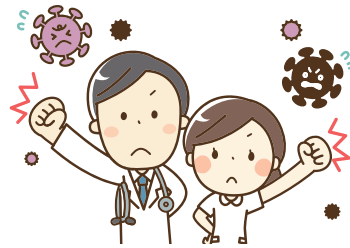


令和二年は新型コロナウイルス対策として、マスクの着用・外出自粛・三密防止など、新たな生活スタイルが求められた一年でした。いすみ学園でも休日の外出や行事の自粛・自宅への一時帰宅の中止・保護者面会日の中止など、極力外部との接触を避ける対応を行い、その甲斐もあって現在まで感染者を出さずに過ごせています。

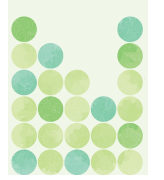
今年度、感染症対策の舵とりをしているのが「新型コロナウイルス感染症対策委員会」です。施設長を委員長として、看護師・栄養士・支援員など各分野から総勢八名で構成されています。検討内容は、感染防止対策として、手洗いや消毒の徹底・消毒設備の強化、外出の自粛・買い物の職員代行・外部と関わる行事の中止などです。（利用者が期待している活動を中止するので、代替行事を別チームで決めてしつかりと行っています。）また、感染発生時の療養場所の設定・必要備品の用意なども行っています。感染の疑いがあるばいすみ医療センターに併設された検査機関でのPCR検査を手配し、これまでに複数の職員とその家族が検査を受けました。結果は全て陰性で大事には至っていませんが、実際に感染者が出た場合は、利用者・職員全員の検査も行えることになっています。この検

査機関はいすみ市長が独自に依頼した感染症研究の第一人者である平井医師が監修されている所で、いすみ障害施設連絡協議会では先生を講師に研修も行いました。何よりクラスターの発生を抑えることが大切で、その為には早期発見が大事であるというのが先生の教えです。速やかに検査を受けることで感染者を早い段階で見つけ、二次感染を防ぐことができます。それまでコロナの予防として次亜塩素酸による消毒を行っていましたが、実際に有効なのはアルコール消毒であるということも先生から指導を受け、両方を行うことでノロウイルスやインフルエンザも含めた対策が出来ます。

話を戻しますが、感染症対策委員会では、これまでに九回の会議を行い、方向性を示してきました。今後も感染状況を注視しながら必要な対策を講じ、利用者の生活を守って参ります。面会等の制限で関係各所にはご不便をおかけしていると思いますが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。（支援課長 井上 秀一）



## 抗体検査研修に参加して



去る十月三十日、ピア宮敷にて行われた「新型コロナウイルス抗体検査」研修に参加してきました。講師はいすみ障害福祉施設協議会に対し、とても好意的に関わってくださいっている千葉県循環器病センターの平井 愛山医師です。平井医師は新型コロナウイルスの性質や伝播力、一般の人たちが留意すべき点などに対して、わかりやすく研修を行ってくれており、いすみ学園も二度にわたって職員を派遣しています。今回の研修内容は、初歩的なことを踏まえながらも、新しい所見、さらには実際に施設内クラスターが発生した時に、どの様な形と手順で抗体を採取するのか、という点的が絞られて

いました。まず新しい所見ですが、十一月から新型コロナウイルスに感染の疑いがあるときには、今までのように保健所に連絡するのではなく、最寄りのかかりつけ医療機関に連絡することになったという点です。いすみ学園の場合はいすみ医療センターということになり、窓口を総括する保健師とも懇意であるため、心強い限りです。次に新型コロナウイルスの感染の在り方がインフルエンザなどとは異なるということです。インフルエンザは熱発してから一定の時間が経過しないとウイルスをまき散らす

ことがないのに対し、新型コロナウイルスは熱が出たときにはウイルスをばらまき終わっているということでした。つまりその位自覚症状が少ない時に対処が必要という事です。

次に実際の抗体検査をやってみました。ガウンから帽子、フェイスシールド、手袋などのかけ方から始まり、一つの抗体を触るごとに、手袋を毎回取り替える手順などを学びました。しかし我々福祉職にとって、このような完全防備は慣れておらず、ちょっとしたことでガウンを触ってしまったり、手袋の取り方の手順を間違えてしまい思うに思えました。そうなることコンタミネーション（ウイルスの混入）が起きてしまつて、正確な情報にはつながらなくなつてしまいます。実際に行つてみて感じたことですが、やはりウイルスをいかに入れないか、という点に対策の焦点を合わせるべきであるというのが実感でした。今後も情報を取りつつ利用者の健康を守るように対策を取りたいと考えます。

（課長補佐 軽込 進一）



# ICTシステム導入

いすみ学園では数年前より記録の電子化を目的に、職員アンケートや記録システム業者との打ち合わせを重ねてきました。そして今年度は「ICT委員会」を立ち上げ本始動となり、現在情報システムの再構築に向けて鋭意作業を進めております。紙媒体で整理されていた各種支援記録を今後は徐々にデジタル管理することで、情報が効率的に共有・活用できるようになります。具体的にはタブレットやパソコンでの日常的な記録の入力、導入ソフトを使用した各種まとめ類の効率的な作成等になります。支援ソフトやパソコン類の導入はされ、現在、学園に合った記録管理システム作りと通信環境の整備を担当者と進めています。



十一月に生活棟全体、十二月には地域交流ホームのWi-Fi工事が行われ、システムを稼働させるための環境は整いました。



尚、地域交流ホーム工事は保護者会の寄付金により進めることができました。学園事業のご理解とご協力にこの場をお借りして御礼を申し上げます。

社会に目を向ければ新型コロナウイルスが蔓延するなか、新たな生活様式の一つとして「テレワーク」が推進されています。私たち支援員の主となる仕事は利用者の直接支援であり、これには当てはまりませんが、その技術を使って働き方を改革する余地は充分にあります。導入したソフトや機器類を活用することで、職員の事務的作業の負担が軽減されますが、この効果として利用処遇の向上に繋がることを最終的な目標としております。

(支援主任 長沼 毅)

# 第一回 いすみ文化祭

去る令和二年十月十六日(金)「第一回いすみ文化祭」が開催されました。今年度は「コロナ」対策により、いすみ学園の秋の恒例行事である「槇の里祭」が中止となりました。地域の方々との交流の機会がなくなり残念でしたが、外部との接触を避けつつ利用者の楽しみにしていた部分の提供を考えた結果、「文化祭」として模擬店を開き、職員有志の発表会を披露する運びとなりました。



模擬店は食事業務を委託している(株)レオックに協力いただき、学園栄養士も腕を振るい、お弁当の他、豚汁・焼きそば・カレー・フランクフルト・コロッケ・メンチカツ・ジュースが並びました。現在は買い物や飲食等、

お店への出入りを中止しており、模擬店で自分で選んで買い物できる機会を、皆さんとても喜んでくれました。また、保護者会からハロウィンデザートの提供もあり、盛りだくさんのメニューになりました。一部の模擬店タイムでお腹を満たし、二部の発表会では笑い・歌い・踊り、気持ちを満たしてもらえたと思います。会場づくり・模擬店準備・ステージ発表・利用者のエスコート等、職員個々が役割を果たし、利用者の為に温かいひと時を演出できました。有難うございました。



(支援主任 鈴木 典子)





去る十二月十八日、クリスマス忘年会が開催されました。昨年度までは、鴨川グランドホテルや勝浦三日月ホテルなどの大きな会場をお借りし、盛大に開催してきましたが、今年度は新型コロナウイルス対策として、利用者職員のみで当学園の交流ホームにて実施することとなりました。

普段なかなか頂く機会のない、お刺身・天ぷら・茶碗蒸しといった和食膳やチキン、クリスマスケーキに舌鼓を打ち、毎年恒例の趣向を凝らした各作業班のトピックスや職員有志による余興、サンタクロースの登場で会場は大いに盛り上がりました。

お腹も心も満たされ、皆の一年の労をねぎらうにふさわしい一日となりました。  
(支援員 長田 圭司)



### 第四十七回 手をつなぐスポーツのつどい絵画展

いすみ学園では、月に一度風川美術館において、小滝雅道先生を招いて絵画教室を実施してきましたが、今年度は、新型コロナウイルスの影響もあり先生をお招きすることができず、利用者の皆さんも残念な思いをしていました。

そんな時、千葉県障がい者スポーツ協会より「第四十七回手をつなぐスポーツのつどい絵画展」の作品の募集があり、利用者さんから希望を募り休日活動の一環として「スポーツ」をテーマに、行事、スポーツ観戦、クラブ活動の思い出を描いてもらい出品しました。  
(支援員 篠崎 俊克)

### 応募作品



題名「世界卓球」  
浅野 正巳



題名「ロッククライミング」  
石川 隆明



題名「相撲」  
金子 勇



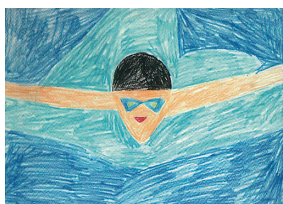
題名「どすこい」  
重田 隆行



題名「友達と武道」  
西澤 順二



題名「僕と卓球」  
丸山 陽



題名「スイミング」  
若月 陽介



題名「海とサーフボード」  
土肥 泉



題名「卓球」  
中村 順子



題名「世界卓球」  
下田 岩雄

### 石鹸を使ってユニホームを洗ってみました!!



皆様、いすみ学園の手作り石鹸をご存知でしょうか？  
廃油を利用して作る自然に優しい無添加の洗濯石鹸です。特に野球やサッカーのユニホームや運動靴の泥汚れ、Yシャツの襟汚れや衣類の油染みには最適で、びつくりするほどキレイになります。その他にも洗車・台所周りの掃除・食器洗い等々、用途は様々です。ラインナップは固形石鹸と液体石鹸の二種類です。見た目は地味ですが、実力はピカイチ!! 勿論コスパも最強です!!  
皆で力を合わせて作った石鹸を是非一度お試しください。ご注文お待ちしております。



お疲れさまでした



江澤 徳子

いすみ学園の看護師として、九年間、利用者職員が健康で毎日過ごす事が

出来るように、お手伝いさせて頂いてきました。大きな事故も無く勤めてまいりましたのも、皆様のご指導のおかげです。つきましては、私事ですが退職いたしました。長い間ありがとうございました。勝浦で皆様のご健勝を心よりお祈りしております。

社会福祉法人 槇の里 いすみ学園 令和二年度 補助金事業

(1)公益信託

ちびぎんハートフル福祉基金助成金

- ・ 電解水生成装置 (食品加工棟)
・ アルコール消毒噴霧器十三台 (全館・全作業棟)

(2)令和二年度障害者(児)施設整備費補助金

- ・ 大規模修繕等 (防災対策事業自家発電設備)

(3)令和二年度障害者(児)施設整備費補助金

- ・ 大規模修繕等 (受水槽設置)

(4)令和二年度補正サービス等生産性向上IT導入支援事業補助金

- ・ ほのぼのシステムソフト 他

いすみ学園入口にある 東急車両が雑誌に掲載されました

デハ3455 (千葉県・いすみ学園)



旧デハ3455は千葉県にある社会福祉法人槇の里いすみ学園に保存されている。施設利用者の自立支援に向けた教材や集会場として使用される。保存車は学園の入口付近に置かれており公道から日々大切に使用されている車両の様子を見ることが出来る。

この度、ネコパブリッシング刊行の鉄道ムック「東急電鉄完全ガイド」にいすみ学園入口にある東急車両(デハ3455)が掲載されました。



発行元 NEKO PUBLISHING CO., LTD. 株式会社 ネコパブリッシング 『RM MODELS』編集部 〒141-1854 東京都品川区上大崎3-13-1 目黒セントラルスクエア6階 FAX 03-5745-1782 03-5745-1783

感謝録

次の皆様方から、たくさんの御寄附を頂きました。厚く御礼申し上げますと共に、今後とも尚一層の御協力をお願い致します。(順不同 敬称略)

〔寄附金〕 川島竜一・株式会社ニューヘルスフーズ 日本健康づくり推進会

- 〔寄附物品〕 湯浅啓之・藤川健太郎・濱田奈緒美・藤村三樹子・片山千鶴・久保早苗・やまよ農園・二村里美・小島恵美子・武藤千秋・田中満奈美・高椋土門・寺井ふみ・(株)メラマック・佐賀美夕紀・奥西美幸・林・鈴木敦子・濱津悟・野田典子・湯浅明美・斉藤雅美・岸野由起子・丸山いずみ・山崎友美・乾倫世・柴崎晴美・新倉美保・大坪茂々代・富田栞名・間眞子・篠原朱美・遠藤正子・成田可子・下杉智佳子・古川敏行・伊藤栄美子・酒巻香津子・鈴木美保子・三上床屋・渡辺陽子・コココーラボトラーズジャパン(株)・重田紀子・岡田千明・長谷山雪美・谷口砂利奈・青井聡子・原淳子・茂木・内藤則江・野川信太郎・下杉智佳子・松永順・小澤物産(株)・山下知津子・中島まゆみ・佐藤謙治農園・脇和美・小林芳枝・今西貴子・味の素デジタルビジネスパートナー(株)・(株)ネコパブリッシング・佐藤智子・無添加の店揚江・(勲)千葉県環境財団 業務部長 須藤雅彦・青波則子

- ・ 伊藤葉子・水野静佳・高橋晴美・土橋陽子・佐藤由希也・佐藤まどか・ARRJAPAN「難民を助ける会」・平野和枝・江川佐和子・久保早苗・いすみ警察署・岸田康代・いすみ市役所・(有)石野薬局・平なおこ・(株)オタフク・波多野電気管理事務所・皆川会計事務所・(株)米本工務店・斉藤雅美・(有)岬サービス・野中正子・(株)西川・内山重浩・原井清子・(有)高山商店・坂田久美子・(有)松本設備工業

いすみ市ふるさと納税 A816 いすみ学園 大地の恵みセット

今年度はコロナウイルスの流行により、生活様式が変わり、外出も控え、イベントの中止が相次ぎました。未だに終息の気配が感じられない毎日、利用者の皆さんは大変もどかしい思いをされています。感染防止に追われる日常が続きますが、職員一人ひとり暗い顔になることなく、笑顔でこの道のりを乗り切つて行こうと思っております。(さざなみ担当 屋代精一・是枝志津子)

編集後記 題字は今年の年女・森 恵里子さんです。